

木のマグネット

プログラムの概要・ねらい

自然の素材を使ってマグネットを作る。ノコギリや電動工具の使い方を覚え、自分のだけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する楽しさを体験する。

完成したマグネットは、自宅の学習机や教室の黒板等で使用することができる。

※ノコギリを使って間伐材（丸太）または丸木材を切る作業あり。

①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
窓を開け、部屋の換気を十分に行う。工具の確認をする。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 説明
- 0:10 材料の間伐材（直径5cm程度）または丸木材を万力で固定し、ノコギリで厚さ1~2cm程度に輪切りにする。（写真①）
- 0:30 切った木の切断面をマジカルサンダーでよく磨く。（写真②）
マジックテープが付いている面に、ヤスリを貼り付けて使用する。
荒削り用→仕上げ用
- 0:50 子どもの作業状況により、早く削るためにベルトサンダーを使用する。（写真③）
ベルトサンダーを使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意をする。
※削る際は、機械の横に立って作業をする。
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
※1台につき二人同時に作業は行わない。
- 1:00 表面が滑らかになったら、ボール盤でマグネットをつける穴（サイズφ21mm）を深さ約6mmに開ける。（写真④）
ボール盤を使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意をする。
※ボール盤の万力を必ず使用する。
※穴を開ける位置を確認してから、電源を入れる。
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
- 1:10 ホットボンドでマグネットを取り付ける。（写真⑤）
※マグネットが飛び出さないようにする。
※ホットボンドを使用する際は、机の上に新聞紙を敷く。
※ホットボンドの先端部分は高温になっているので取り扱いに注意する。
シールでマグネットを塞ぐ。（使用時の壁面傷防止のため）
- 1:20 ポスカで絵や文字を書く。
※ポスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。
希望者は裏面に少年自然の家の焼き印を押す。
※焼き印の取り扱いに注意し、やけどに気を付ける。
※焼き印は温まるまでに約15分かかるので、事前にスイッチを入れておく。
- 1:45 片付け
- 2:00 終了

①



②



③



④



⑤



場所	クラフト室	4 読書の教育をみんなに	7 自然の恵みをもみぎに活かしてクラフト
時間	1時間30分~2時間	11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさも守ろう
値段	料金表参照		
季節	年間		
人数	クラフト室 席数 48		
準備物	【利用者】ぞうきん、新聞紙、活動に適した服装 救急用品 ポスカ 【自然の家】材料（間伐材または丸木材、マグネット）、 トリプルカッター20mm、万力、マジカルサンダー、ノコギリ、ベルトサンダー、 ボール盤、焼き印、ホットボンド、ホットボンドスティック		

③後片付け

工具等を元へ戻し、電動工具のコンセントを抜く。
ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。
（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。
クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。